

1 研究主題

自らの学びを自覚し、考えを深めていく子どもの育成

～対話を通して学び合う授業づくり～

2 研究主題設定の理由

本校では、令和2年度から「他者との関わりを通して、自らの学びを深めていく子どもの育成」を主題として研究を進め、昨年度は「伝え合う力を育む授業づくり」を副題とし、「自分の考えを分かりやすく伝えようとする力」と「学びを深めようとする力」を育てることを研究の重点として授業実践を行ってきた。

授業では、子どもが自らの学びを実感できるよう「伝え合う力を育む授業づくり」の在り方を模索し、身に付けさせたい資質・能力の視点から「学びを深めていく子どもの姿」を具現化してきた。そのために「この学びは自分にとって大事、役に立つ」という自分ごととして考えることのできるような課題を設定し、必要感のある対話の場を授業に組み入れた。また、「学びを支える基盤」として「学びを支える学習集団づくり」や「聞く力・話す力を育てる手立ての工夫」などに学年・学級、そして学校全体で取り組んできた。その結果、他者と協働して学ぶ楽しさを実感し、考えることや話し合うことにも意欲的な姿が見られるようになってきた。ただ、自分の考えを分かりやすく伝えたい思いがあるものの、考えの根拠を明確にして話すことや相手に分かりやすく伝えること、考えを深めたり、広げたりする話合いに課題が見られた。また、学びを通して「何が分かったのか」「どのように次につなげていくのか」「友達との関わりで何を知り、どのように変容したり明確になったりしたのか」を子ども自身が自覚し、自分の考えを深めることができた実感するまでには至っていない。

県学習状況調査の質問紙の結果においても、話し合う活動への取り組み方、学んだことを次の学習につなげることに関する項目は概ね良好であった。しかし、「ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目については不十分な結果であり、授業を通して自分が何を身に付け、何ができるようになったかを自覚できていない子どももいることが分かった。

以上の実態から、今年度は、一人一人に即した必要感のある対話的な学びを取り入れた授業づくりと、学習のめあてや課題を自分ごととして捉え、学びの習得を自覚できる手立てを工夫することを重点として研究を進めていきたい。また、学びを支える基盤として言語環境の充実にも努めていきたい。そして、必要感のある対話を通して「どこまで分かったのか」「何ができたのか」「次にどうつなげていくか」「考えがどのように変容したのか」を子ども自身が自覚し、自分の考えを深めることができるよう授業改善に取り組んでいきたいと考える。

3 育てたい子どもの姿

思いや考えを伝え合い、自らの学びを広げ、深めようとする子ども

4 研究の仮説

一人一人に必要感のある対話的な学びを取り入れた授業づくりをすることで、自らの学びを自覚し、考えを深めようとする子どもが育つのではないか。

5 研究の重点と内容

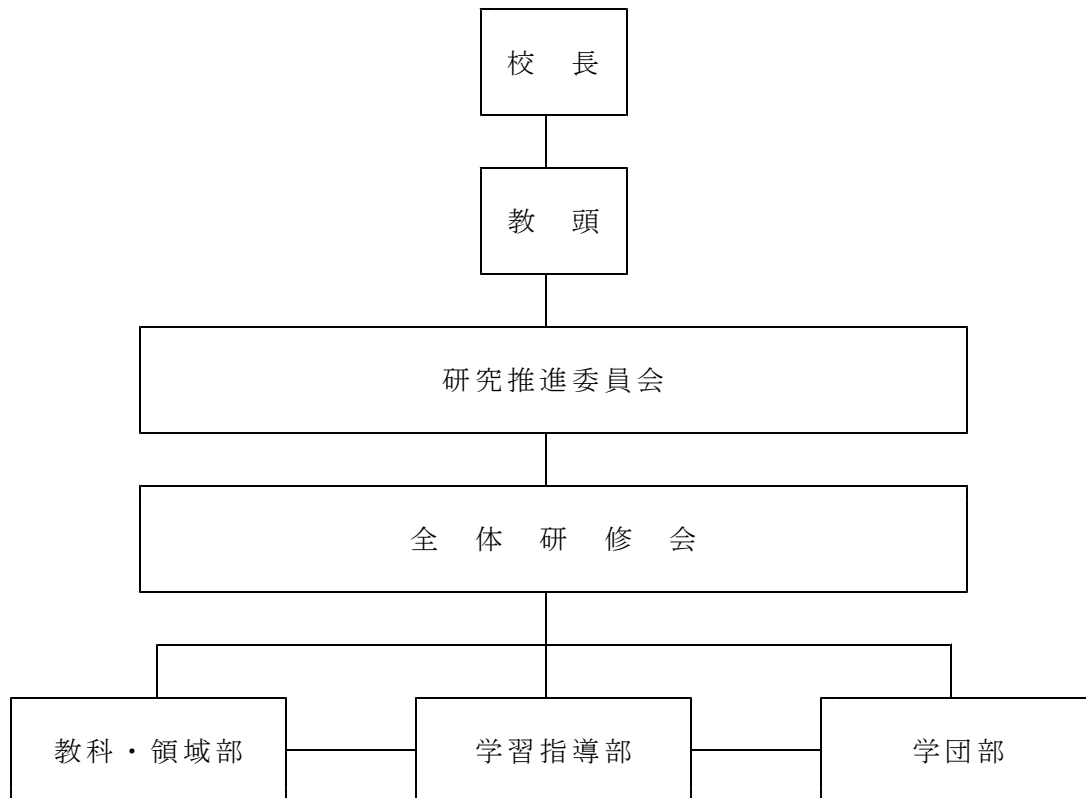
- (1) 一人一人に必要感のある対話的な学びを取り入れた授業づくり
 - 目的を明確にした「広げる・深める」での交流活動の工夫
 - 理由や根拠を明確にするための表現方法の指導（ICTの活用、資料の提示、図や具体物の利用など）
 - 対話的な学びを多様に捉えた学習の工夫
- (2) 学びの習得を自覚できる手立ての工夫
 - 自分ごととして捉え、解決の見通しがもてる課題、学習活動の設定
 - 自分の考えを明確にする場、方法の工夫（文章化する、教える、発表するなど）
 - 学びの習得や変容を自覚できる「振り返り」の工夫（視点の提示、選択等）

6 学びを支える基盤（共通実践事項）

- 学びを支える学習集団づくり
 - ・互いに話を聞き合える雰囲気づくりの工夫と人間関係の育成
 - ・多様な意見を受け止め、友達の発表に反応することへの意識付け
- 言語環境の充実
 - ・書く・伝える活動の場の工夫
 - ・「飯田川の子ども 聞き方・話し方」の活用
 - ・ICTの日常的な活用
- 基礎的・基本的な知識及び技能の定着
 - ・「はげみ学習」の継続と充実
 - ・家庭学習への取組
 - ・チャレンジテスト（漢字・計算）の実施

7 研究の進め方

(1) 研究の組織



○研究推進委員会…研究の方向づけ、研究内容の検討、研究全体の企画・運営など

○全体研修会…研究計画の検討、共通理解、授業研究会、研修報告など

(2) 研究推進の方法

①授業研究の充実

- ・視点を明確にした授業提示
- ・研究協議会（成果の確認と授業改善の方策、付箋紙を用いたワークショップ型）

②全体研修会の充実

③年間研修計画のPDCAサイクルでの見直し

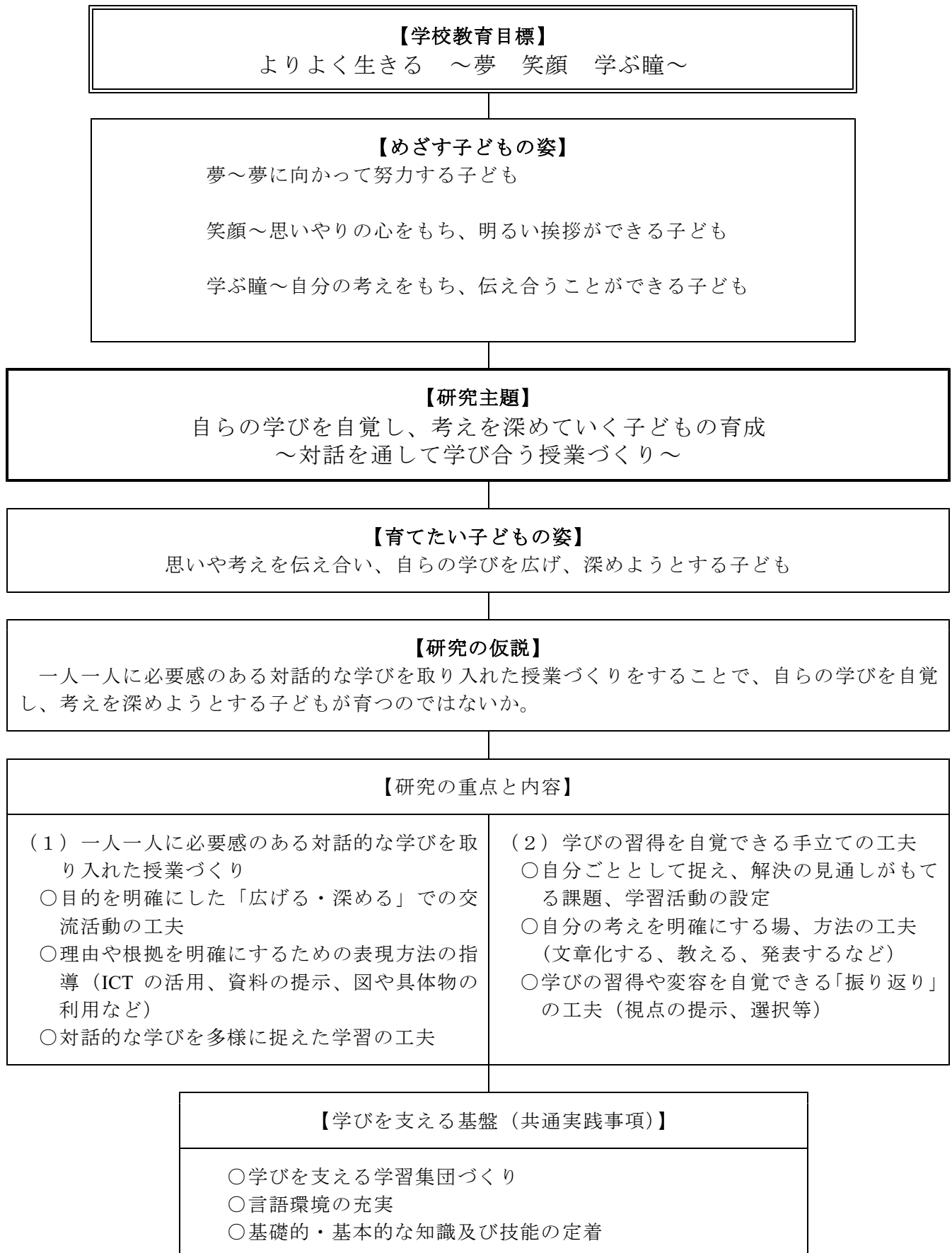
- ・短いサイクルでの見直しと活用

④学習アンケートの実施（6月、2月）と分析・実態把握及び活用

⑤小中連携事業による中学校区内小中学校の相互授業参観及び研究会参加

⑥先進校視察及び伝達講習

8 研究の全体構想



9 年間研修計画

月		研 修・授 業 研 究 会 等	
4	計 画 ・ 立 案	研究推進委員会 全体研修会①②… 今年度の研究についての共通理解 年間計画の検討・組織づくり 全国学力・学習状況調査（4 / 18、25）実施	Plan
5		研究計画等の共通理解	Do
6	実 践 ・ 検 証	授業研究会【校内（算数科）】事前検討会（中学団）	Check
7 ・ 8		授業研究会【校内（算数科）】（中学団） 全体研修会③… 出張報告、実践途中経過報告 中央教育事務所長訪問（8 / 29）	
9 ・ 10		授業研究会【教科等（社会科）】事前検討会（高学団） 授業研究会【教科等（社会科）】（高学団）	Action Plan
11		授業研究会【校内（算数科）】事前検討会（低学団） 授業研究会【校内（算数科）】（低学団）	Do
12		県学習状況調査（12 / 4） 学習状況調査結果分析、考察	Check
1	ま と め	県学習状況調査の結果分析、考察を受けての課題への取組 研究推進委員会 授業力向上推進協議会（1 / 21）	Action Plan
2		全体研修会④… 今年度の反省と評価 来年度の研究の方向について	
3		研究推進委員会	